

はぐくみ通信

京都府中丹教育局
第117号
令和6年2月14日



中丹教育局

検索

社会総がかりで子どもをはぐくむ環境づくりのために

様々な事柄について正しく理解することが豊かな関係を創り出し、「社会総がかりで子どもをはぐくむ環境づくり」につながります。今年度、中丹教育局が実施した人権教育行政担当者等研究協議会、地域の子育て指導者研修会、視覚障害者社会教育指導者研修会の取組を紹介します。参考にしていただき、各園・学校・機関の積極的な取組や研修につなげてください。

人権教育行政担当者等研究協議会

人権教育行政担当者等研究協議会では、社会教育施設（博物館）を訪問したり、施設の方にご講演をいただいたりしてそれぞれの取組から学びました。

舞鶴引揚記念館



「地域とのつながりと記憶の継承
～舞鶴引揚記念館の取組～」
舞鶴引揚記念館副館長 山下 美晴 様
学生語り部 谷口 逢友 様
吉田 透子 様

参加者の感想

・「次世代への継承」から「次世代による継承」へ学生語り部の活動は長年の取組の成果の表れだと感じた。
・シベリア抑留と聞くと重労働や極寒や飢えを思い浮かべるが、お話を聞いて捉え方が変わった。絆、愛情、交流、命、家族、感謝、平和などのメッセージを受け取った。

ウトロ平和祈念館



講話・館内ガイド・
フィールドワークの案内
ウトロ平和祈念館
副館長 金 秀煥 様

参加者の感想

・間違った情報がサイレントマジョリティーとなり、差別が増幅する危険性があることを教えていただいた。
・差別の現実を乗り越え、どのようにまちづくりに取り組んだか。取組を聞かせていただく中で人の優しさや温かさに触れることができた。

水平社博物館



「全国水平社創立100年
～水平社の想い～」
水平社博物館
学芸員 佐々木 健太郎 様

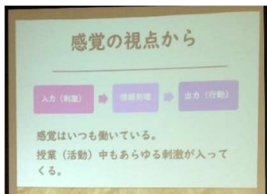
参加者の感想

・水平社の理念が今、差別解消につながっていることが意義深い。
・正しい知識を得ることの重要性を改めて感じた。
・人間は尊敬しあうべき。自分自身も大切に、相手のことも尊敬し、受け入れることが大切だと感じた。

地域の子育て指導者研修会

地域の子育て指導者研修会では、放課後学級の指導者の方々を中心に児童理解や豊かな体験活動について学び、それぞれの所属の取組について交流しました。

児童理解について



綾部小学校
ことばの教室



講演 「子どもへの支援について考える
～いろいろな視点から子どもをみよう～」
綾部市立綾部小学校 教諭 足立 勝彦 様
交流会 「児童・生徒と関わる際の役割について」

参加者の感想

・「可能性で見る」「いろいろな視点で見る」ことをいついっ忘れていたことに気付いた。
・「困った子、課題のある子」は実は「困っている子」だということが理解できた。

豊かな体験活動について



綾部市
天文館パオ



講座 「身近な物で作って遊ぼう」
綾部市天文館パオ 大槻 直樹 様
交流会 「安心・安全で楽しい体験活動について」

参加者の感想

・少し工夫することで面白い遊びができると感じた。
・大人は、きれいに速く完成させがちだが、失敗しながら考える力を身に付けることも大事だと感じた。
・工作を通して親子、大人と子どもが学び合うことが大事なのだと思った。

視覚障害者社会教育指導者研修会

障害のある人の心豊かな生活に向けての学習活動や障害及び障害のある人についての正しい理解と認識を深めるための学習機会を提供しています。



実践発表「障害者のスポーツ活動について」
福知山市視覚障害者協会 会長 今川 義弘 様

講演 「日本茶の魅力」
日本茶インストラクター・リーダー
きょうと食いく先生 赤井 貴恵 様

参加者の感想

・簡単なスポーツでよいから続けることが大事だと思った。体をしっかり鍛えて、健康でいたい。
・お茶の講演、興味を持って聞かせていただいた。今日の内容を参考に、お正月にはおいしいお茶を家族に淹れたい。